

令和7年度全国学力・学習状況調査 ニセコ町内の状況及び今後の改善方策

○ 教科に関する調査の状況

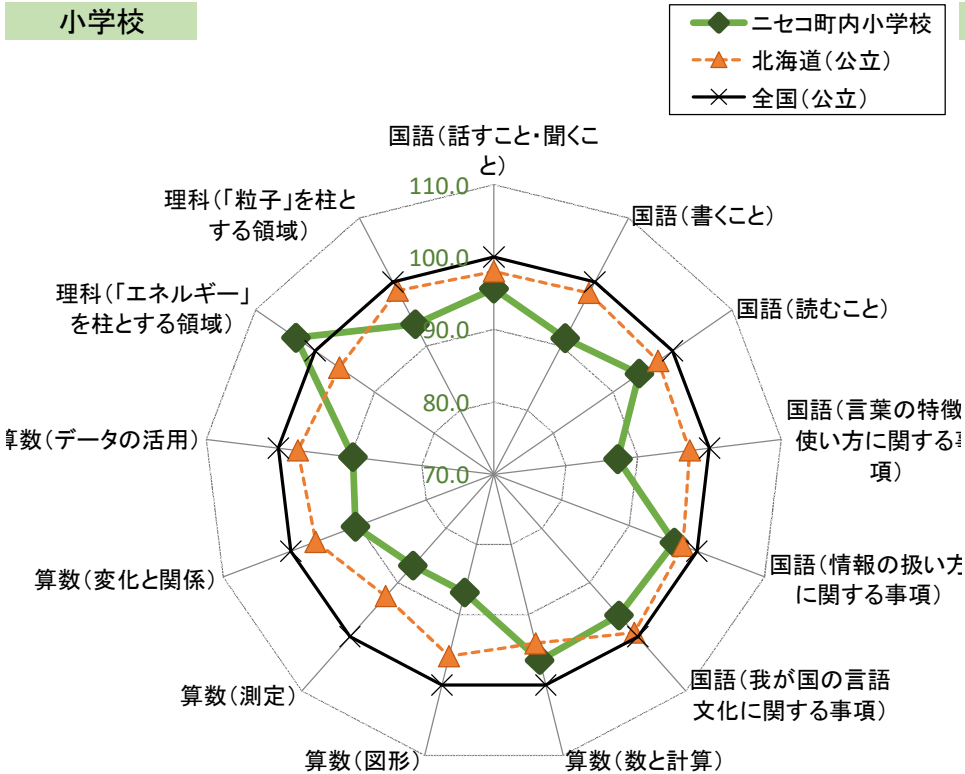
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

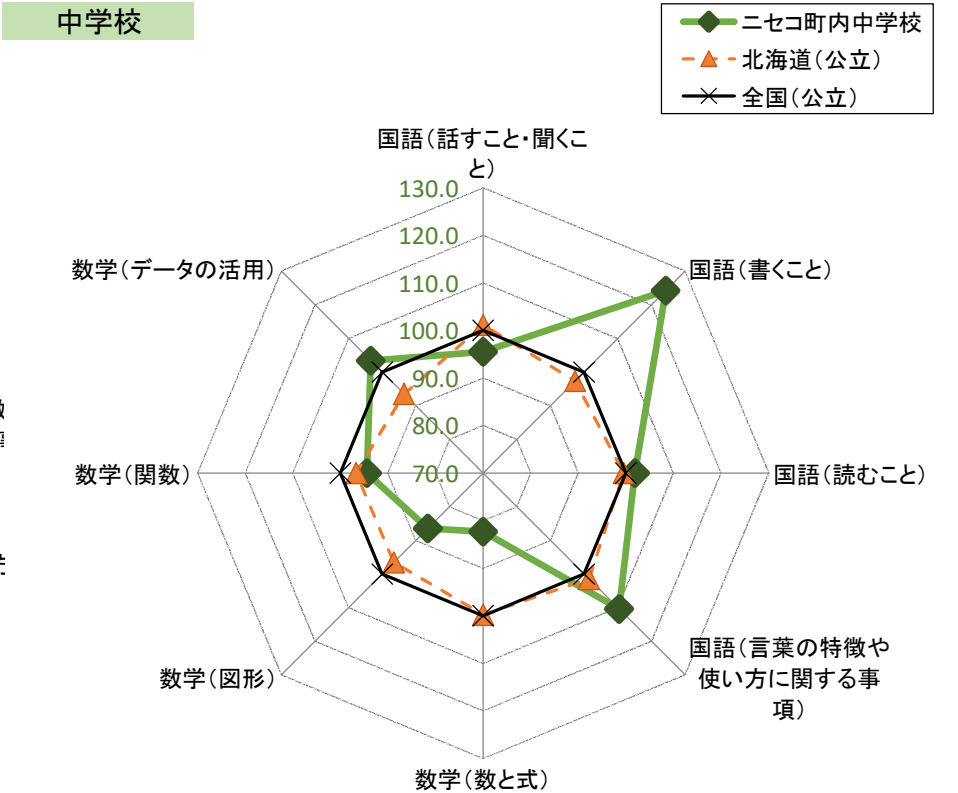
小学校数:2校、児童数:42人 中学校数:1校、生徒数:35人

	【平均正答率・平均IRTスコア】			※中学校理科は平均IRTスコア		
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
ニセコ町	62	54	54	59	44	501
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



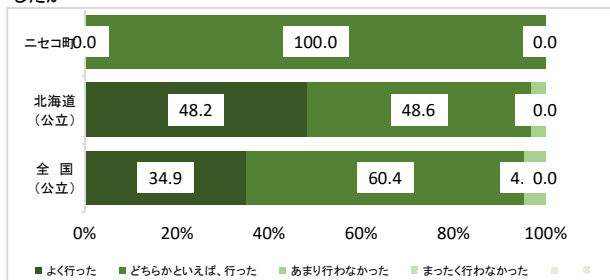
中学校



## ○ 質問調査の状況

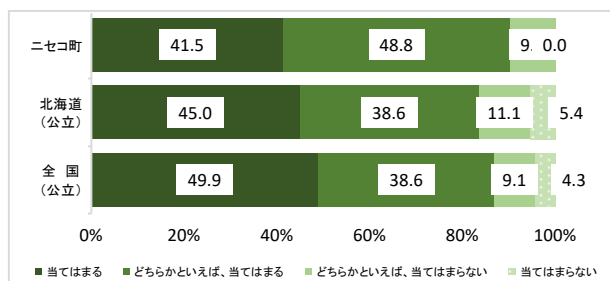
### 小学校 ＜学校質問＞

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童がそれぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



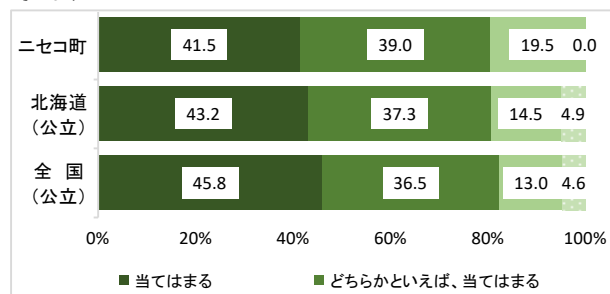
### 小学校 ＜児童質問＞

学校に行くのは楽しいと思いますか



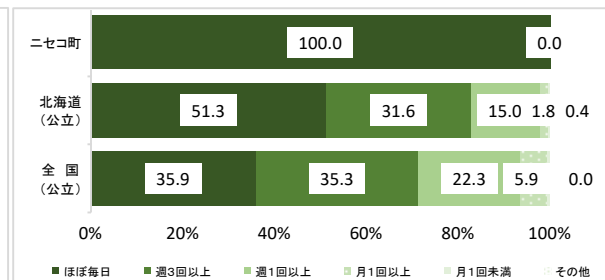
### 小学校 ＜児童質問＞

算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



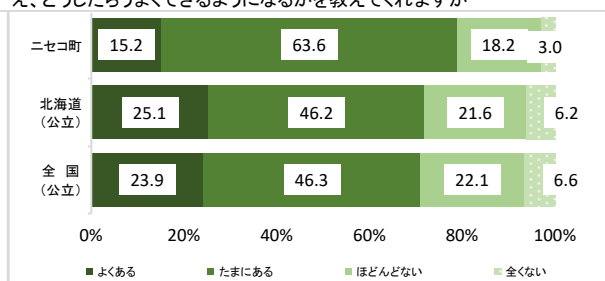
### 中学校 ＜学校質問＞

調査対象学年の生徒が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



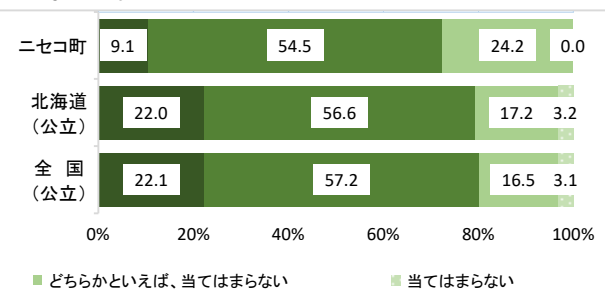
### 中学校 ＜生徒質問＞

国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてください



### 中学校 ＜生徒質問＞

1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



## ○ 調査結果の分析

・小学校において、学習指導において、児童がそれぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫したことにより、学校に行くのは楽しいと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、生徒が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)で、ICT機器をほぼ毎日使用することにより、数学(データの活用)で、平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、国語の授業で、学習のうまくできないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えることで、中学校国語平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、小学校において、算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えると回答した児童の割合が全国及び全道を下回っていること、中学校においては、1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていないと回答した生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

## ○ 今後の改善方策

・幼・小・中・高の連携強化や学習規律の統一など「ニセコスタイルの教育」の推進

・ICT機器を活用した児童生徒の主体的な学習活動や、学習意欲、思考力、判断力、課題解決力を育成する教育の展開

・外国人指導助手を活用した生きた英語による児童生徒のコミュニケーション能力と国際感覚の養成